

[訂正告知]

『日本医史学雑誌』第56巻第4号に掲載の日本医史学会会報46号(復刊)において誤りがございました。

下記の通り訂正いたしますとともにお詫び申し上げます。

577頁, 下から11行目

(誤) 平成24年7月10日(火)

(正) 平成22年7月10日(土)

599頁, 下から10行目

(誤) 「広前藩医」

(正) 「弘前藩医」

編集後記

本年最初の第57巻第1号をお届けします。今年は春から行事が目白押しですので、今回はそれについて紹介します。まず、第28回日本医学会総会が東京で開催されます。その行事の一環として「歴史で見る・日本の医師のつくり方—日本における近代医学教育の夜明けから現代まで」(主催 第28回日本医学会総会、共催 国立科学博物館、協力 日本医史学会)が、上野の国立科学博物館、日本館1F企画展示室で平成23年4月10日(日)まで開催されています。近代医学の夜明けから、蘭学、ドイツ医学の導入、アメリカ医学の移入、さらには現代のOSCE、CBTに至るまでの長い医学教育史を、壮大な企画力のもとに展示が行なわれています。諸先生方に本誌が届くのは春も盛りの桜も良い頃かと思われまますので、是非足をお運び頂ければと思います。また、今度の日本医学会総会では4月9日(土)に本学会員である蔵方宏昌先生のガイドによる医蹟巡りバスツアーが企画されております。コースにつきましては第28回日本医学会総会ホームページで「医蹟巡り自由散策コース」として紹介されていますので、是非一度アクセスをお願い致します。

さらに、6月10日(金)～6月13日(日)には坂井建雄会長のもと、第112回日本医史学会総会(東京・順天堂大学)を開催、すでに多数の演題が集まっていると聞き及んでおります。今回は国立科学博物館の展示と連動して医学教育史を中心に特別講演(天野郁夫先生)、シンポジウムが組み込まれ、盛況な学会となることが期待されます。

現在日本医史学会は公益法人の制度改革に伴い、任意団体から一般社団法人へ向けての申請を進めており、本年中には認可が受けられる予定です。日本医史学会としては新たなる一歩を踏み出す年であり、会員の諸先生方におかれましては益々の御協力をお願い申し上げます。

(西巻 明彦)